

より開かれた議会を目指して

塩尻市議会

第5回議会報告会を開催しました

議会報告会の
報告を掲載します

10月15日から21日の内の5日間に、第5回議会報告会を区長会のご協力をいただき開催しました。市内10地区のうち、4月に行った地区以外の宗賀、北小野、洗馬、広丘、高出地区で、地域の課題について議会として市民の声を聞く方針のもと実施しました。今回の報告会は、9月定例会での各常任委員会の審査報告と、大きな事業である信州Fパワープロジェクトに関する議会報告を行い、意見交換を行いました。

当日は参加者の皆さんから、設定したテーマに関すること、それ以外の地域の課題、市全体の課題についてなど様々なご質問やご意見をいただき、議員がそれぞれお答えしました。

なお、紙面の都合上、ここでは内容の一部のみを掲載しました。詳細な内容や、質問に対する行政側からの回答は、塩尻市議会ホームページに掲載しましたのでご覧ください。

■ 第5回議会報告会担当表

開催日	時間	対象地区	場所	担当班	サポート班
10月15日(火)	午後7時～ 9時ごろ	宗賀	宗賀支所	2班	1班
10月17日(木)		北小野	北小野地区センター	1班	3班
10月18日(金)		洗馬	洗馬支所	2班	3班
10月19日(土)		広丘	広丘支所	3班	2班
10月21日(月)		高出	高出地区センター	1班	2班

※ 正副議長は班には所属せず、総括として出席しています。

- 班編成
- 1班 宮田伸子 横沢英一
金子勝寿 牧野直樹
 - 2班 青木博文 古畑秀夫
森川雄三 青柳充茂
中原巳年男
 - 3班 丸山寿子 永田公由
中原輝明 務台 昭
西條富雄 柴田 博
山口恵子 塩原政治

宗賀



宗賀支所 (10月15日)

問 市民のための憩いの場を作れないか。塩尻は温泉が出ないのでバイオマス発電の余熱を利用できないか検討してほしい。

答 余熱利用は温泉施設を望む市民が多い。議会として検討したい。

問 みどり湖の福祉施設が平成27年頃に建て替えなら、余熱利用をしようか。

答 ハウスで使うにも近くでなければならぬ。入浴施設は近くの土地では建築許可が下りない。福祉施設は東部、西部、北部の3圏域に分けており、その中で検討する。

答 余熱利用の可能性も含め(用地を)検討してほしいかと東地区の中では話が出てい

問 余熱利用の可能性も含め(用地を)検討してほしいかと東地区の中では話が出てい

答 北海道下川町へ視察に行ってきた。余熱利用ということよりも林業を根付かせることが大事である。森林組合の50名は全員イターン者で、空き待ちが30名いる。住宅を建てるなどのまちづくりが大事だ。農業ハウスは水の確保が困難である。また、余熱利用するための配管は1km当たり1億円程度と聞いているが、ボイラーシステムは1台2億円できると聞いている。

答 地元とすれば、森林資源を使った市民の憩いの場をという声も上がっているが、経費的な面があるので検討が必要。熱利用で温浴施設ができればいいと思う。

問 本山床尾線のガードは小学校の通学路だが、交通量が多く狭く曲がっていて危険である。アーチ式のトンネルを作してほしい。重大な事故が起こる前に何とかしてほしい。

答 県も十分承知している。多額の費用がかかるということと、返事はするが何もしようという動きが出てきた。クラックは残しながら区長の提案方法で行えるよう市と連携し最善の努力をする。